

八王子市議会からの提言に対する考え方

1 長期ビジョン策定に向けた総括的な提言

(1) 構成要素の関係性

<提言>

長期ビジョンを構成している「みんなで目指す 2040 年の姿」「未来を拓く原動力」「変革のキーワード」「重点テーマ及び取組方針」「施策」が計画体系図で示されていますが、それぞれの関係性が複雑で分かりづらくなっています。それぞれがどのように関係し、様々な施策へと繋がるのかを視覚的効果も含めて表現方法を最大限工夫し、すべての市民と長期ビジョンを共有できるようにする必要がありますと考えます。

<考え方>

原案では、構成要素が理解できるよう、分かりやすい図示・表現方法に配慮し提示するとともに、冊子全体として通読できるような分量や印象に残るような工夫を検討

(2) 「人づくり」の視点

<提言>

行政が策定する計画ですが、市民一人ひとりがこの長期ビジョンを理解し、八王子市のためにできることを主体的に行動することが必要です。長期ビジョンの実現にあたっては人が主役となることから、現在、様々な分野で活躍している人財をしっかりと把握して生かしていくとともに、新たな人財の確保や育成といった「人づくり」の視点を大切にしていきたい。

<考え方>

原案では、重点テーマである「未来への主役づくり」及び「未来へのつながりづくり」において、「人づくり」や人づくりに結び付く「つながりづくり」を視点として、様々な分野の取組を推進できるよう位置付けるとともに、「人づくり」の視点を重視していくことが伝わる見せ方を検討

2 みんなで目指す 2040 年の姿

(1) 姿の分かりやすい表現

<提言>

すべての市民が未来の八王子をイメージできるよう、視覚効果を取り入れるなど、わかりやすく表現する必要があると考えます。

<考え方>

冊子としてお示しする際には、市民の皆様に「みんなで目指す 2040 年の姿」を理解、共感してもらえるよう、イラストなどの活用を検討

(2) 課題の市民への共有

<提言>

明るい未来を掲げるだけでなく、人口減少・少子高齢化の進行や税収減など社会環境の変化として記載した課題等もしっかりと市民と共有することが必要と考えます。その上で、子どもたちや若い世代が、夢や希望を持ち、未来の八王子へ期待を抱ける 2040 年の姿をみんなで目指すことが大切であると考えます。

<考え方>

原案では、2040 年までに想定されている社会環境の変化や財政見通しを伝えながら、そのなかでも、市民と共に夢や希望を持てる八王子を目指していくというメッセージが伝わる内容を検討

3 未来を拓く原動力

(1) 地域自治・共創を担う人財の確保・育成

<提言>

原動力である「地域自治」と「共創」は極めて重要な考え方であり、未来を拓く原動力としてふさわしいと考えます。その上で、地域自治と共創の2つを原動力として、長期ビジョンに掲げる各施策を実施していくためには「人づくり」の視点が大切と考えます。そのため、地域自治・共創を担う人財を確保・育成していく「人づくり」の重要性も市民へ伝わるよう努めていただきたい。

<考え方>

1(2)同様、原案では「人づくり」や人づくりに結び付く「つながりづくり」を視点として、様々な分野の取組を推進できるよう位置付けていくとともに、地域自治・共創においても欠かせない視点であることを盛り込む。

(2) 地域づくり推進事業などの取組の一層の推進

<提言>

多様化する地域課題を地域が主体となって解決していく「地域自治」は、今後の市政運営においてますます重要なものとなってきます。そのため、市民一人ひとりが地域の担い手であることを認識していくよう市民意識の醸成を図っていくことが大切です。これらのことを市民と共有するため、現在、八王子市で進めている地域づくり推進事業などの取組を、より一層推進する必要があると考えます。

<考え方>

「地域づくり推進事業」は、これまで築き上げてきた地域との協働による取組をさらにすすめ、今後さらに多様化・複合化していく地域課題を解決していくための地域主体のまちづくりに向けた取組であるため、重点テーマ(2)「未来へのつながりづくり」の取組方針に紐づけて重点的に取り組んでいく。

4 変革のキーワード

(1) カーボンニュートラルに向けた積極的な姿勢

<提言>

カーボンニュートラルは、様々な施策に取り組むにあたって、常に考えていく必要がある地球規模の大きな取組です。国の方針や様々な政策を踏まえながら、これまでにない手段や方法を取り入れた施策展開を図るなど、基礎自治体として積極的に取り組んでいくという姿勢を明確にする必要があると考えます。

<考え方>

変革のキーワードとして定めるカーボンニュートラルについては、本年2月にゼロカーボンシティ宣言を表明したことも踏まえ、原案では、市が積極的な取組姿勢を示し、市民とともに全市一丸となって取組を推進していく施策展開を盛り込む。

5 重点テーマ及び取組方針

(1) 重点テーマに資する施策の重点化

<提言>

令和12年度(2030年度)までの重点テーマとして掲げている「未来の主演づくり」「未来へのつながりづくり」「未来に続く都市づくり」は、適当であると考えますので、これからの8年間、この3つのテーマに資する施策に重点的に取り組んでいただきたい。

<考え方>

重点テーマ・取組方針の目標達成に貢献する細施策に、限られた財源、マンパワーを優先的に配分して重点的に取り組んでいく。

(2) 施策立案に対する柔軟性及び市議会意見の尊重

<提言>

長期ビジョンの素案に基づいて、今後様々な施策を検討していくこととなりますが、長期ビジョン特別委員会において意見として上がった、SDGsの目標達成や地域福祉の推進、健康寿命の延伸、それぞれの世代における居場所づくりなど、令和12年度2030年度までに取り組むべき施策は多岐にわたると考えられます。

さらに、今後も様々な社会環境の変化も見込まれることから、取組方針は尊重しつつも、柔軟性を持って施策立案にあたり、今後も市議会からの意見を聴き、市民のためにより良い長期ビジョンとするよう努めていただきたい。

<考え方>

原案では、重点テーマ・取組方針に基づく重点化により、未来のために真に必要なことを確実に取り組んでいく実行性を確保することに加え、今後、起こり得る想定不可能な社会環境の変化への対応など柔軟性を持った市政運営が求められる点について、記載を検討するとともに、常に市議会をはじめとした市民の声に耳を傾け策定に取り組んでいく。